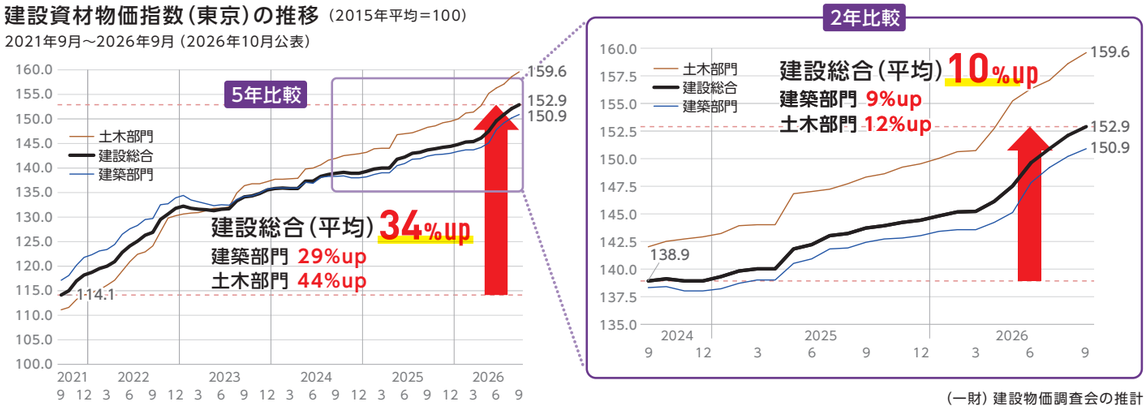
建設資材高騰・労務費の上昇等の現状 [四半期版] 2026年秋版

一般社団法人 日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

世界的な原材料及び原油等エネルギーの品不足や価格高騰・円安の影響を受けて、建設工事の資材価格なども高騰しています。



建設資材物価は、2021年9月と比較してここ5年間で34%上昇、2024年9月と比較して直近2年間で10%上昇しています。（一財）建設物価調査会の推計

○この2年間で上昇している主な品目と上昇率

アルミ地金	ストレートアスファルト	600Vビニル絶縁電線	硬質ポリ塩化ビニル管
	針入り度60～80 ローリー配送	IV 1.6mm 単線 標準条長	一般管（VP：JIS K 6741） 呼び径100㎜ x 外径114㎜
32%up	34%up	62%up	44%up

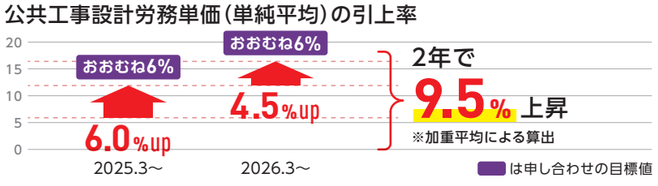
資材のUP率：（一財）建設物価調査会の建設物価 2024年11月号掲載価格（東京）と2026年11月号掲載価格（東京）との比較

政府の賃上げの方針や労務単価の引き上げなどを受けて、建設現場で働く建設技能労働者の賃金も上昇しています。

○建設技能者の賃金相当として積算される「**公共工事設計労務単価**（全国の労働市場の実勢価格を基に毎年政府において決定）」**は2024年に比べ、9.5%引上げ**られています。

○**国土交通大臣と日建連を含む建設関係4団体**（元請会社の団体・下請会社の団体）は、2021年から毎年行っている**賃金上昇の申し合わせ**において、技能者の賃上げについて**2026年は、「おおむね6%の賃上げ」を目指すこと**とされ、当会は国土交通省から、その実現に向けた御指導をいただいています（国土交通省不動産・建設経済局建設業課長通知（2026.3.25））。

注）申し合わせは、技能労働者の賃金計算の基準（日給等）につき行われています。



労務費割合を30%と仮定すると、この2年間で、労務費上昇の影響により全建設コストは、2.9%上昇
※加重平均による算出

平成25年度の改定から14年連続の引き上げにより、全国全職種加重平均値が25,834円となり、初めて25,000円を超えました。（2026.2.27 国土交通省発表）

材料費割合を50～60%、労務費率30%と仮定すると、この2年間で、建設資材の高騰・労務費の上昇の影響により、仮設費・経費などを含めた全建設コスト（平均）は、7.9～8.9%上昇。
（土木部門9.0～10.3%上昇、建築部門7.4～8.3%上昇）

注1）「労務費」は、建設工事現場で働く技能労働者の賃金等の原資です。したがって、元請の現場監督や本社社員の賃金などは含まれません。
注2）特注品の設備機器が多く採用されていたり、設備協力会社の繁忙度により労務費や経費等が大幅に高騰している案件については、『設備工事費上昇の現状について』で個別に御説明します。

資材価格高騰とは別に、設備関連や一部建設資材において、納期遅延が発生し、工期への影響が出ています。

○建築関係では、躯体、仕上げ、設備等幅広い分野で納期遅延が発生しています。
○資材等の納期遅延は、工期への影響のほか、一旦代替品で仮引き渡しをした後、本来の資材の調達後に再度工事を行い完成させることによる**代替品調達や追加工事の費用増**も惹起しています。
○特に、一部の建築設備工事については、工事の集中により職人さんの手配がタイトになっており、資材調達の問題と相俟って、工期への影響が出ています。
○**「中東情勢による建設資材の調達への影響について」**（別紙）もあわせて御覧ください。

当会会員が納入遅れありと認識している資材・設備

躯体 ⟨⟨⟨ アイアンショック他
- BCP（鉄骨用コラム）
- トラス筋付デッキ型枠
- コンクリート膨張材
- ○超高強度コンクリート用セメント
- ○軽量コンクリート用人工軽量骨材
- 既製コンクリート杭

仕上
- 木製建具・木質系床 ⟨⟨⟨ ウッドショック
- ○アスファルト防水 ⟨⟨⟨ 工場設備損傷
- ○フッ素樹脂焼付塗装鋼板 ⟨⟨⟨ 半導体需要の高まり、環境対策等によるフッ素樹脂原料不足
- 金属断熱サンドイッチパネル（物流倉庫・生産施設）
- 自動開閉装置 ⟨⟨⟨ 中国のロックダウン
- ○断熱発泡ウレタン・パネル ⟨⟨⟨ HFO発泡剤メーカーのハリケーン被災
- ガラス
- ○長尺塩ビシート ⟨⟨⟨ 一部のメーカーの工場火災
- 耐火クロスを用いた防火・防炎シャッター、スクリーン等 ⟨⟨⟨ ロシア産耐火クロスの調達難
- OAフロア（コンクリート製） ⟨⟨⟨ 現地工場作業員不足（新型コロナ）

設備 ⟨⟨⟨ 半導体不足・樹脂原料不足・アイアンショック等

電気設備
- ○受変電設備
- ○高圧ケーブル
- ○低圧ケーブル
- ○照明機器
- ○電話
- ○発電機
- ○盤類
- ○自動火災報知設備
- ○UPS（無停電電源装置）
- 弱電設備
- ○インバーター盤
- ○中央監視設備
- ○樹脂系コネクタ

空調設備
- 冷凍機
- チラー（冷却水循環装置）
- PAC（パッケージエアコン）
- ○自動制御盤
- 送風機
- ○空調機
- ○ポンプ
- ボイラー
- エアコン

衛生設備
- ○シャワートイレ
- 厨房設備
- コンプレッサー
- スプリンクラーヘッド
- ○給湯器
- ○冷凍冷蔵設備

昇降機設備
- ○乗用エレベーター
- ○荷物用エレベーター
- 機械式駐車場（タワーパーキング）

注）図中、○は現在もひっ迫が続いているもの。・は現在はひっ迫が収束したもの。